



病院満足度調査にご協力いただきありがとうございました

町立病院では、接遇の改善とサービスの向上を目的として、毎年2回、職員の対応や待ち時間などについて、アンケート調査を実施しております。

今回は、平成30年1月15日から1月26日までの期間実施し、合計199人の方々からご回答をいただきました。大変ありがとうございました。



結果につきましては以下のとおりですので、その報告をさせていただきます。

()内は%

	非常に良い	良い	あまり良くない	悪い	回答なし
職員のあいさつ	76 (39)	118 (60)	2 (1)	0	3
職員の清潔感・身だしなみ	74 (38)	122 (62)	0 (0)	0	3
職員の対応・言葉づかい	77 (40)	114 (59)	2 (1)	0	6
院内の雰囲気	57 (30)	125 (67)	5 (3)	0	12
院内の清掃状況	77 (41)	110 (58)	2 (1)	0	10
プライバシーへの配慮	55 (31)	112 (63)	11 (6)	0	21
待ち時間	34 (21)	96 (60)	28 (18)	1 (1)	40
入院中の食事	28 (39)	38 (54)	5 (7)	0	128

前回（平成29年6月実施）と比較して、「あまり良くない」「悪い」という評価が減少しています。大変喜ばしいことではありますが、待ち時間に関しては前回同様厳しい評価が続いています。電子カルテ化により改善が期待されるところです。アンケートのなかの「当院の良いところ」の欄には、待ち時間が改善されたというご意見もいただきました。多くの患者さんの実感へとつながっていくように、改善に向けた努力を続けていきたいと思っております。

清掃に関しては、地域でいちばんきれいな病院を目標に取り組んでおり、「いつも清潔で気持ちが良い病院です」などの高い評価を多数いただいております。

今回、待合室のイスの臭いが気になったとのご指摘があり、早速確認し対応させていただきました。大変参考になるご意見をありがとうございました。

その他、いただきましたプライバシー、尊厳、入院時のアラーム音などについてのたくさんの貴重なご意見等につきましては、今後の接遇改善に向けて参考にさせていただきます。

これからも、ご協力をよろしくお願いいたします。

面会制限継続のお知らせ

秩父地域でのインフルエンザの流行に伴い、12月28日よりお見舞い等の面会について制限を実施しております。

皆様のご協力によりその成果が表れ、現在、院内でインフルエンザにかかった患者さんはいません。しかしながら、現在もインフルエンザの流行が続いているため、面会制限を継続させていただきます。

面会制限の内容として、面会をご家族に限定させていただいておりますので、ご近所の方やご友人、職場の関係者等は面会することができません。

皆様には、ご不便やご迷惑をおかけしますが、患者さんを感染症から守るため、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。



インフルエンザが流行しています。うがい・手洗い・マスクの着用等で予防しましょう。

⑫ のぶえさんとあやこさん 《 寄り添う・・・ 》

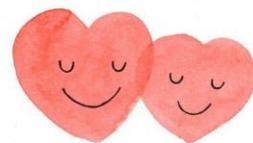
「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」とはよく言ったものです。先日新年を迎えたと思いましたが、2月に入ってからは今年初めての方にも新年の挨拶をすることはありません。気づいてみるともう3月。すぐに別れと出会いの季節になりますね。今年度の締めくくりもあやこさんとのぶえさんの話でいきましょう。

認知症ののぶえさんはヘルペス（带状疱疹）の後遺障があり左腕を痛がります。診察のたびに「先生、左腕の痛みはなんとかありませんか」といわれます。いろんな薬を処方し、注射をしていますが、こればかりはどうしようもありません。「痛いのは生きている証拠」と娘のあやこさん。私も「ある程度つき合っていくしかないかもね。天国に行けば治りますよ」というと、のぶえさんは「あの世に行っても痛かったら先生に報告に来ますからね」と。「それは遠慮しておきます」といいながら診察を終えました。

そのように毎回痛みを訴えるのぶえさんでしたが、彼女が診察室を出ると、非情にも私は次に彼女がくるまで痛みのことは忘れてしまいます。そんなある日私は大好きな鮎釣りに出かけた際、川で転倒。右胸を石で強打し、30秒ほど息ができませんでした。病院に戻りレントゲンを撮ると右肋骨（あばら骨）骨折。この骨折で恐ろしいのは、自分の意思で止めることが出来ない咳とくしゃみとしゃっくり。普段めったに出ないしゃっくりもなぜだかこんな時にはよく出るのです。胸が動くたびに激痛が走ります。つらかったですね。幸いにもこの時は竿が折れなくてよかったものです。これで竿も折れていたら心も折れていたでしょう。もう数年前の話ですが今でもはっきりと覚えています。

そんなことがあって、バストバンドを胸に巻いて診察していると、のぶえさんが診察にやってきました。いつものように「先生、左腕の痛みはなんとかありませんか」といわれます。この時ばかりは「痛いよねー」と共感できたことです。

「相手の立場に立つ」ことは実はとても難しい。ましてや人の痛みは肩代わりすることができません。毎回痛みを訴えるのぶえさんの立場に立つことは出来ませんでした。この時ばかりはのぶえさんの痛みを少し寄り添えた気がしました。



「他人の悩みを軽視すると、いつか手痛いしっぺがえしをこうむる」

（ジョセフ・マーフィー：イギリス出身の自己啓発作家）

「喜びは分かち合うことによって倍になり、悲しみは分かち合うことによって半分になる」

（スウェーデンのことわざ）

今回は認知症の話には触れませんでした。普段の日常の中でも、隣の方に寄り添える日々を送りたいものですね。皆様には1年間私のひとりごとにおつきあいいただきありがとうございました。

総合診療科 医師 内田 望



外来からのお知らせ

休診

耳鼻咽喉科：3月 6日（火）荒木Dr.
 整形外科：3月26日（月）吉原Dr.
 婦人科：3月27日（火）小笠原Dr.

変更

整形外科：3月27日（火）吉原Dr.→関口Dr.

※整形外科は複数の医師で担当しておりますので、当日の勤務医が診察を行います。



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉 「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。